

2026年度
ガイドブック／入学試験要項

京都美術工芸大学大学院

Graduate School of Architecture, Kyoto Arts and Crafts University

建築学研究科 建築学専攻

KYOBIN
Graduate School of Architecture,
Kyoto Arts and Crafts University

◆目次

◇京都美術工芸大学大学院建築学研究科建築学専攻について	… 1
建築学研究科建築学専攻の授業科目、単位数等	… 3
授与学位	… 4
研究科教員一覧	… 4
◇2026 年度入学試験要項	
募集人員	… 5
入試日程	… 5
出願資格	… 5
事前面談	… 6
出願書類一覧	… 7
出願手続きの注意事項	… 7
選抜方法	… 8
出願書類提出先	… 8
試験会場	… 8
受験上の注意事項	… 8
受験上等の配慮について	… 8
合格発表	… 8
入学手続締切日	… 8
入学金・授業料・諸費等	… 9
個人情報の取扱い	… 9
◇資格取得に関する事項	
一級建築士（国家資格）	… 10
◇京都東山キャンパス案内・交通アクセス	… 10

京都美術工芸大学大学院 建築学研究科建築学専攻(修士課程)

◇京都美術工芸大学大学院 建築学研究科建築学専攻について

京都美術工芸大学大学院では複雑かつ多様な現代社会が抱える諸課題を踏まえ、建築に関わる高度な教育研究プログラムを整備するとともに、一級建築士試験受験に向けた支援体制を整え、現実の課題を解決できる実践力を身につけた、高度専門職業人を養成します。

◆ディプロマ・ポリシー【修了認定・学位授与の方針】

京都美術工芸大学大学院建築学研究科は、以下の素養を身につけるように編成された教育課程を履修し所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文又は修士設計の審査及び試験に合格した学生に対して修了を認定し、修士の学位を授与する。

- ① 建築デザインに加え、施工や歴史文化、あるいは建築関連法規など建築に関する高度で幅広い知識、技能。
- ② 建築行為を通じて社会の発展に貢献するための実現可能性の高い課題解決力、伝統の継承およびそれらを基にした新しい文化や作品作りにつながる高度で独創的な構想力、発想力。
- ③ 日本の歴史文化を修得理解するとともに、グローバルな視点も視野に入れた新しい文化づくりへ発展させる鋭い感性・安定した価値観。
- ④ 建築は単体の作品ではなく文化そのものであり、また多くの人々の協力の中から作品が生まれるという観点から、多様な人々と協働するための協調性、コミュニケーション力、表現力。

◆カリキュラム・ポリシー【教育課程編成・実施の方針】

京都美術工芸大学大学院建築学研究科は、ディプロマ・ポリシーに掲げる素養を備えた人材を育成するために、以下の方針で教育課程を編成、実施する。

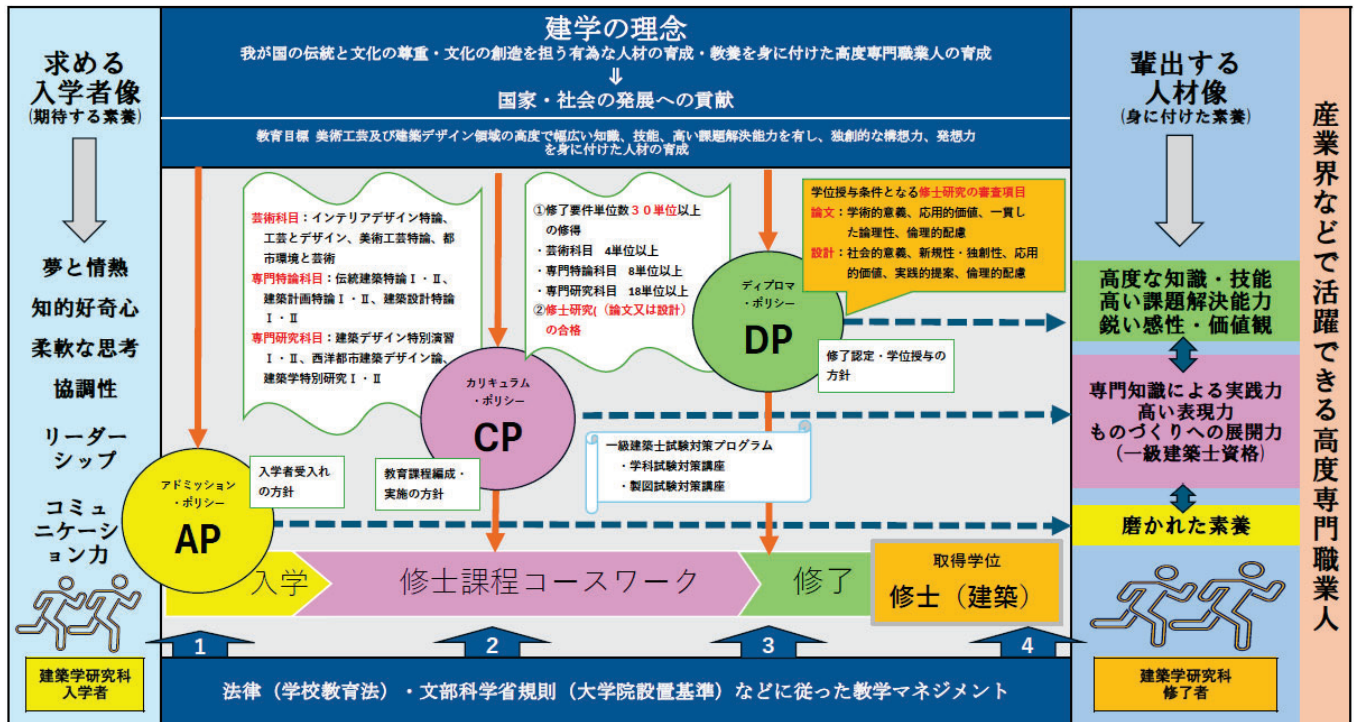
- ① 芸術科目、専門特論科目及び専門研究科目を体系的に編成する。
- ② 教育目的に合わせて、講義、演習、実習等を適切に組み合わせる。建築全般に関わる教育だけでなく、建築デザイン領域と伝統建築領域の特徴に沿った適正な教育プログラムを領域ごとに編成し実施する。
- ③ 建築デザインや施工、あるいは文化財の保存修復など建築関連のものづくり世界で活躍するための実践的な教育内容、あるいは協調性やコミュニケーション力・表現力等を高める教育内容を適切に盛り込む。
- ④ 現物の建築の調査や視察を体験する中で、その持っている意味をより深く理解し、新しいものづくりへ展開させる。

◆アドミッション・ポリシー【入学者受入れの方針】

京都美術工芸大学大学院建築学研究科は、大学の理念、教育目的を理解するとともに建築学研究科の教育目的・方針に沿って常に自己の可能性を追求していく持続性や熱意を持ち合わせ、真摯に学業に励むことのできる素養を持った以下のような学生を求める。

- ① 建築を通して、未来を切り拓いていこうとする夢と情熱を持っている人。
- ② 知的好奇心に富み、建築やその関連分野の専門職業人として、社会の発展に貢献したい心を持った人。
- ③ 自主的に学ぶ姿勢と柔軟な思考を持ち、建築やその関連分野で優れた才能を有する人、あるいは持ちたいという情熱を有する人。
- ④ 常に他者を尊重する姿勢と協調性に富み、リーダーシップを発揮することのできる人、あるいは組織の中で必要とされる素養を有する人。
- ⑤ 本学の教育課程を学修するための基礎的な学力とコミュニケーション力を身につけた人。

京都美術工芸大学大学院 建築学研究科 3つのポリシー概念図



京都美術工芸大学大学院 建築学研究科 3つのポリシーを視覚的に各要素間の関係を示す図を表しています。

◆建築学研究科建築学専攻の授業科目、単位数等

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		履修方法
			必修	選択	
芸術科目	インテリアデザイン特論	1		2	4 単位以上を修得すること
	工芸とデザイン	1		2	
	美術工芸特論	2		2	
	都市環境と芸術	2		2	
専門特論科目	伝統建築特論Ⅰ	1	2		必修 8 単位を修得すること
	伝統建築特論Ⅱ	1	2		
	建築計画特論Ⅰ	1	2		
	建築計画特論Ⅱ	1	2		
	建築設計特論Ⅰ	1		2	
	建築設計特論Ⅱ	1		2	
専門研究科目	建築デザイン特別演習Ⅰ	1		6	必修 12 単位、選択 6 単位以上を修得 すること
	建築デザイン特別演習Ⅱ	1		6	
	建築企画論	1		2	
	西洋都市建築デザイン論	1		2	
	建築学特別研究Ⅰ	2	6		
	建築学特別研究Ⅱ	2	6		
	合計（16 科目）		20	28	計 30 単位以上取得および修士研究 （修士論文又は修士設計）の提出
			48		

◆授与学位

- ・研究科名： 建築学研究科 〈Graduate School of Architecture〉
- ・専攻名： 建築学専攻 〈Major of Architecture〉
 なお、建築学部 of 建築学科と大学院の建築学専攻を一体として表記する場合は、School of Architecture を使用する
- ・学位： 修士（建築） 〈Master of Architecture〉

◆研究科教員一覧

区分	氏 名	職 位	専 門 分 野
研究指導・授業担当教員	高田 光雄 Takada Mitsuo	教授	建築計画（住まい・まちづくり、リノベーション）
	井上 晋一 Inoue Shinichi	教授	建築計画（集合住宅設計、建築心理、空間構成）
	岸 和郎 Kishi Waro	特任教授	建築デザイン（建築設計、建築論）
	種村 俊昭 Tanemura Toshiaki	特任教授	建築デザイン（アーバンデザイン、福祉住環境）
	小椋 吉隆 Kokaji Yoshitaka	特任教授	建築デザイン（インテリアデザイン、建築設計）
	山内 貴博 Yamauchi Takahiro	教授	建築デザイン（ランドスケープデザイン、景観）
	安田 光男 Yasuda Teruo	教授	建築デザイン（建築設計、インテリアデザイン）
	森重 幸子 Morishige Sachiko	教授	建築計画（町家・細街路再生、住宅設計）
	生川 慶一郎 Narukawa Keiichiro	教授	建築計画（建築企画、リノベーション）
	新海 俊一 Shinkai Shunichi	教授	空間デザイン（環境デザイン、都市解析）
	宮内 智久 Miyauchi Tomohisa	教授	建築デザイン（建築設計、キュレーション）
	井上 年和 Inoue Toshikazu	教授	伝統建築（伝統建築保存修理、街並保全）
	白鳥 洋子 Shiratori Yoko	准教授	建築デザイン（西洋建築歴史意匠、都市デザイン）
	人見 将敏 Hitomi Masatoshi	准教授	建築デザイン（近代建築史、意匠論）
	根来 宏典 Negoro Hironori	准教授	建築デザイン（住宅設計、居住空間デザイン）
	東 俊一郎 Higashi Shunichiro	准教授	空間デザイン（色彩、インテリアデザイン）
	砂川 晴彦 Sunagawa Haruhiko	講師	伝統建築（日本建築史、住文化）
	齊藤 啓輔 Saito Keisuke	講師	建築デザイン（建築設計、まちづくり）
	中西 大輔 Nakanishi Daisuke	講師	伝統建築（日本建築技術史）
	北岡 慎也 Kitaoka Shinya	講師	伝統建築（伝統建築保存修理、日本庭園史）
授業担当教員	岡 達也 Oka Tatsuya	准教授	美術工芸（近代デザイン史、工芸、図案）
	杉本 直子 Sugimoto Naoko	特任准教授	建築計画（建築設計、住文化）
	新谷 謙一郎 Shintani Kenichiro	講師	建築デザイン（建築構造、数理解析）

（注1） この研究科教員一覧は2025年7月1日現在で作成しています。

（注2） 本研究科では、授業担当教員が研究指導に加わることができます。

◇2026 年度入学試験要項

◆募集人員

研究科	専攻	第Ⅰ期	第Ⅱ期
建築学研究科	建築学専攻	10 人	若干人

◆入試日程

入学試験種別		出願期間(必着)	試験日	合格発表日	手続締切日(必着)
第Ⅰ期	(学内等)推薦	2025年9月16日(火) ～2025年9月26日(金)	2025年 10月4日(土)	2025年 10月9日(木)	入学金： 2025年10月24日(金) 授業料等： 2025年11月14日(金)
	一般				
第Ⅱ期	(学内等)推薦	2026年1月5日(月) ～2026年2月3日(火)	2026年 2月11日(水・祝)	2026年 2月19日(木)	入学金： 2026年 2月27日(金) 授業料等： 2026年 3月9日(月)
	一般				

◆出願資格

本学大学院の出願資格は、次の各号に掲げる要件のいずれかに該当するものとする。

- ① 大学を卒業した者および 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 学士の学位を授与された者および 2026 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育による 16 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者および 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および 2026 年 3 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および 2026 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑨ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた 2026 年 3 月までに 22 歳に達する者

※⑨の資格で出願される方は出願期間前に入学資格審査を実施しますので、大学事務局までお問合せください。

【TEL】 075-525-1515 【メールアドレス】 kenkyuka@kyobi.ac.jp

※外国人留学生として出願される方は出願資格に加え、我が国における「留学」の在留資格を有する者、または本学大学院入学までに取得する予定の者で、入学後、授業を受けるのに十分な日本語能力を有する以下のいずれかに該当するものとする。

- ① 日本語能力試験（JLPT）の N1 または N2 に合格している者
- ② 日本留学試験（EJU）の「日本語」において、「読解」（200 点）と「聴解・聴読解」（200 点）の合計が「260 点以上」である者

◆事前面談

本学大学院に出願を希望する場合、次の期日までに研究指導希望教員と事前面談を行い、出願の内諾を得る必要があります。

	第Ⅰ期	第Ⅱ期
事前面談申請受付締切日	2025 年 9 月 12 日（金）	2026 年 1 月 16 日（金）

＜事前面談申請方法＞ （※京都美術工芸大学 2026 年 3 月卒業見込み者には別途ご案内します。）

kenkyuka@kyobi.ac.jp宛てに以下の内容を記入の上、事前面談の申請をお願いします。

【入力項目】（※①～⑦必須）

- ① 氏名
- ② 出願資格要件（卒業（見込み）大学名、学部、学科等）
- ③ 希望指導教員（複数記入可）
- ④ 希望面談形式（オンラインまたは来校）
- ⑤ 研究計画書（様式自由、pdf 形式）
- ⑥ ポートフォリオ（様式自由、pdf 形式）
- ⑦ 履歴書（様式自由、pdf 形式）

【留学生の方のみ追加必須項目】

- ⑧ 現在の所属（日本語学校名）
- ⑨ 日本語能力試験または日本留学試験結果

＜事前面談申請後の流れ＞

大学院事務（kenkyuka@kyobi.ac.jp）より事前面談実施（日程調整）をメールにて連絡します。

面談時間は 30 分程度を予定しています。オンラインの場合は ZOOM または Google Meet を使用します。

＜面談後について＞

大学院事務（kenkyuka@kyobi.ac.jp）より事前面談結果（出願可否）をメールにて連絡します。

出願の内諾を得た場合は、出願の準備を進めてください。

＜留意事項＞

- (1) 入学願書の希望する研究指導教員名欄には必ず指導の内諾を得た教員名を記載してください。
- (2) 複数の希望する研究指導教員と面談された場合は、入学願書には最終決定された教員名を記載してください。

◆出願書類一覧

No.	出願書類	出願書類作成上の注意	学内等 推薦	一般 入試
1	入学願書 受験票・写真票	・ 本学所定の用紙を使用し、必要事項をもれなく黒のボールペンで記入してください。 ※ 消せるボールペンは不可 ・ 写真欄に3カ月以内に撮影した無帽、上半身のものを貼付してください。 ※ 写真は入学願書・受験票・写真票 計3枚同一のものを準備してください。	○	○
2	出願資格を証明する書類及び成績証明書等	・ 出身大学の卒業(見込)・修了(見込)証明書及び成績証明書 ・ 出願資格②により出願する者については学位授与機構が発行した学士の学位授与証明書、授与見込みの者は学位授与機構が発行した学士の学位授与申請受理証明書、及び基礎資格となる学校の成績証明書を提出してください。	○	○
3	入学検定料納付証明書	・ 入学検定料35,000円を本学所定の振込用紙を使って納入し、郵便局の振替払込請求書兼受領証を受験票の所定の貼付欄に貼付してください。	○	○
4	受験票返信用封筒	・ 同封の長形3号の封筒に、受験者の送付先住所を記入し、その上に普通郵便+速達料金の切手(410円分)を貼付してください。	○	○
5	(学内等)推薦書	・ 本学所定の様式に入学志願者を推薦する教員が記入し、京都美術工芸大学長・京都建築大学校長が発行したものを厳封の上、提出してください。	○	×
6	外国人留学生が提出するもの	・ 在留カードの写し ・ 日本語能力試験等の成績通知書(コピー可)	該当者のみ	該当者のみ

◆出願手続きの注意事項

- ・ 出願内容に虚偽があれば、合格後でも入学を取り消すことがあります。
- ・ 一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還いたしません。

◆選抜方法

(学内等)推薦入試：面接、推薦書類、成績証明書等を総合して判定します。

一般入試：小論文、面接、成績証明書等を総合して判定します。

◆出願書類提出先

本学所定の封筒を使用し、速達・簡易書留にて下記の送り先へ郵送してください。

送り先 〒605-0991 京都市東山区川端通七条上ル

京都美術工芸大学事務局 大学院担当 TEL：075-525-1515

◆試験会場

京都美術工芸大学 京都東山キャンパス

※キャンパスまでのアクセス方法についてはP.10を確認してください。

◆受験上の注意事項

- ① 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
やむを得ない事情により遅刻した場合は係員に申し出て指示を受けてください。
- ② 試験室に入室してから試験終了までは、退室できません。
- ③ 試験時間中は、休憩時間でも試験会場外に出ることはできません。受験票送付時に通知する試験時間により、必要な場合は、あらかじめ昼食を持参してください。
- ④ 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、不正防止のため必ず電源を切り、カバン等にしまってください。
- ⑤ 試験日の3日前になっても受験票が到着しない場合は、事務局に問合せってください。
- ⑥ 配付された問題冊子は試験室から持ち出すことはできません。
- ⑦ 受験票は入学手続きの際に必要となりますので、受験後も保管しておいてください。

◆受験上等の配慮について

病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上配慮を希望する場合は、出願期間前に大学事務局にご相談ください。また、出願後に配慮を希望するに至った場合も直ちに大学事務局にご相談ください。

【TEL】075-525-1515 【メールアドレス】kenkyuka@kyobi.ac.jp

◆合格発表

第Ⅰ期募集：2025年10月9日(木) 10:00

第Ⅱ期募集：2026年2月19日(木) 10:00

※本学受験生応援サイト「KYOBI SCOPE」インターネット合否案内にて発表します。

<<https://www.kyobi.ac.jp/examination/>>

※合格者へは合格通知書等書類を発表日に郵送します。

なお、電話による問合せには一切応じません。

◆入学手續締切日

第Ⅰ期募集：入学金 2025年10月24日(金)

授業料等 2025年11月14日(金)

第Ⅱ期募集：入学金 2026年2月27日(金)

授業料等 2026年3月9日(月)

※入学手續時に提出された書類及び納入された入学金は理由の如何を問わず返還しません。

◆入学金・授業料・諸費等（①2026年3月 京都美術工芸大学卒業見込み者）

入 学 金	0 円〔全額免除〕
授 業 料	790,000 円〔年額〕（前期 395,000 円、後期 395,000 円）
施 設 設 備 費	360,000 円〔年額〕（前期 180,000 円、後期 180,000 円）
学 生 自 治 会 費	5,000 円〔年額〕
アプリケーション利用料	15,500 円〔年額〕
学 研 災	2,430 円〔学生教育研究災害傷害保険 2 年分〕
計	1,172,930 円〔実習費等は除く〕

◆入学金・授業料・諸費等（②2025年3月以前 京都美術工芸大学卒業生および
学校法人二本松学院グループ校からの進学者）

入 学 金	150,000 円〔半額免除〕
授 業 料	790,000 円〔年額〕（前期 395,000 円、後期 395,000 円）
施 設 設 備 費	360,000 円〔年額〕（前期 180,000 円、後期 180,000 円）
校 友 会 費	40,000 円〔入学時のみ、終身会費含む。京都美術工芸大学卒業生は除く。〕
学 生 自 治 会 費	5,000 円〔年額〕
アプリケーション利用料	15,500 円〔年額〕
学 研 災	2,430 円〔学生教育研究災害傷害保険 2 年分〕
計	1,362,930 円〔実習費等は除く〕

◆入学金・授業料・諸費等（①②以外からの進学者）

入 学 金	300,000 円
授 業 料	790,000 円〔年額〕（前期 395,000 円、後期 395,000 円）
施 設 設 備 費	360,000 円〔年額〕（前期 180,000 円、後期 180,000 円）
校 友 会 費	40,000 円〔入学時のみ、終身会費含む〕
学 生 自 治 会 費	5,000 円〔年額〕
アプリケーション利用料	15,500 円〔年額〕
学 研 災	2,430 円〔学生教育研究災害傷害保険 2 年分〕
計	1,512,930 円〔実習費等は除く〕

※学生教育研究災害傷害保険（学研災）について

入学する学生全員を対象に、授業時間中や、課外活動中に発生した傷害・加害事故に対する備えとして上記保険へ加入することを原則とし義務付けています。

◆個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、「学校法人二本松学院個人情報の保護に関する規程」に基づき、次のとおり取り扱います。

- ① 出願書類に記載された個人情報については、入学選抜、合格発表及び入学手続き業務を行うためにのみ利用します。
- ② 入学選抜の試験成績は、本学の入学選抜方法の検討資料作成のために利用します。
- ③ 入学者の個人情報については、教務関係・学生支援関係・授業料関係業務にのみ利用します。

◇資格取得に関する事項

本学大学院においては、一級建築士試験受験に向けた支援体制（個別相談および対策講座に係る学費免除等）が整備されています。

◆一級建築士（国家資格）

建築士には、一級建築士、二級建築士、木造建築士の3種類があり、その資格により設計・工事監理できる建築物に違いがある。

一級建築士は、国土交通大臣の免許を受け、一級建築士の名称を用いて、設計・工事監理等の業務を行う者をいう（建築士法第2条第2項）。

一級建築士は、次のような設計・工事監理に複雑・高度な技術を要する建築物を含むすべての施設の設計及び工事監理を行うことができる（建築士法第3条）。

1. 学校・病院・劇場・映画館・観覧場・公会堂・集会場（オーディトリウムを有しないものを除く。）又は百貨店の用途に供する建築物で、延べ面積が500㎡を超えるもの
2. 木造の建築物又は建築物の部分で、高さが16mを超えるもの又は地階を除く階数が4以上であるもの
3. 鉄筋コンクリート造、鉄骨造、石造、れんが造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の建築物又は建築物の部分で、延べ面積が300㎡を超えるもの、高さが16mを超えるもの又は地階を除く階数が4以上であるもの
4. 延べ面積が1000㎡を超え、かつ、階数が2以上である建築物

◇京都東山キャンパス案内・交通アクセス



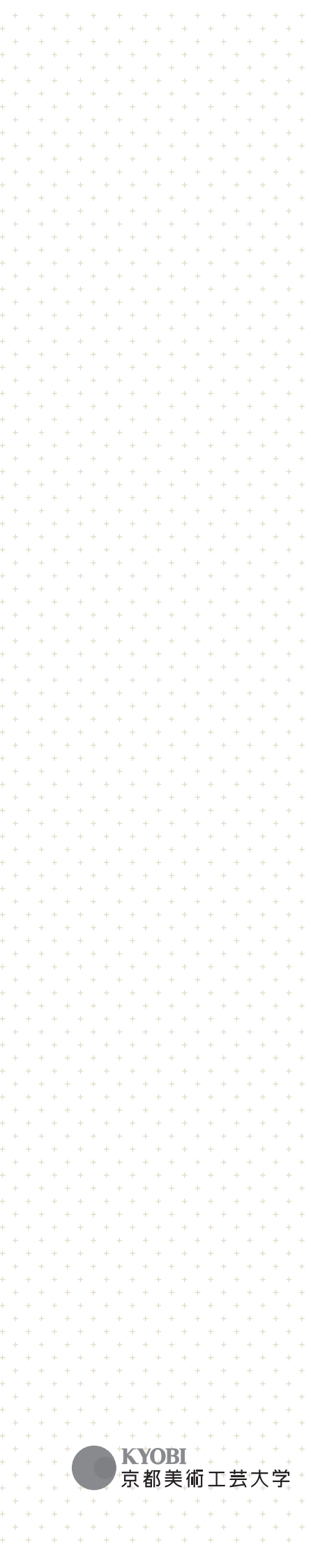
- JR・近鉄・地下鉄「京都」駅から徒歩約15分
- 京都駅中央口D2のりばから市バス86系統・206系統で約7分、「七条京阪前」下車すぐ
- 京都駅八条口からプリンセスラインバスで約7分、「京阪七条」下車すぐ
- 京阪「七条」駅下車、6番出口すぐ
- 阪急「京都河原町」駅から徒歩で京阪「祇園四条」駅へ、京阪「七条」駅下車、6番出口すぐ

京都美術工芸大学 京都東山キャンパス
事務局 大学院担当

〒605-0991 京都市東山区川端通七条上ル

【電話】 075-525-1515 【FAX】 075-533-6033

【メールアドレス】 kenkyuka@kyobi.ac.jp



KYOBID
京都美術工芸大学